

一 読み

/12

二 画数

/4

三 送り

/5

四 構成

/6

五 部首

/6

六 対義

/6

七 同音

/7

八 誤字

/7

九 四字

/6

十 書取

/12

合計

/71

合格のめやす
50問(7割)

一 線の漢字の読みを、ひらがなで書きましょう。

① 天気予報を見る。

てんきよほう

② 歴史の本で古い陵墓の写真を見た。

りょうぼ

③ 彼は毎朝公園を走っている。

かれ

④ きょうは学校が無い。

ない

⑤ 駅まで往復する。

おうふく

⑥ 二人であそぶ。

ふたり

⑦ 水泳教室に申し込む。

もうしこむ

⑧ 長い努力のすえに目ひようを遂げる。

とげる

⑨ 甲高い声でさけぶ。

かんだかい

⑩ 新しいけいかくを提案する。

ていあん

⑪ 新年の抱負をのべる。

ほうふ

⑫ せなかの骨が曲がっている。

ほね

二 次の漢字は、何画で書きますか。数字で書きましょう。

① 浸

10

画

② 村

7

画

③ 思

9

画

④ 端

14

画

三 線のことばを、漢字一字と送りがなで書きましょう。

れい
くるまがとまる。

止
まる

① こまっている人に食べ物をほどこす。

施
す

② つめたい風がふく。

吹
く

③ 水がいきおいよく出る。

勢
い

④ うそをつかれて母は本気でおこる。

怒
る

⑤ 庭にあなをほる。

掘
る

四 次の熟語の組み立ては、「」のア～エのどれにあたりますか。記号で書きましょう。

ア 同じような意味の漢字を組み合わせたもの(れい 岩石)

イ 反対や対になる意味の漢字を組み合わせたもの(れい 左右)

ウ 上の漢字が下の漢字をくわしくしているもの(れい 青空)

エ 下の漢字が「くを」「くに」にあたるもの(れい 読書)

① 愛憎
イ

② 粗食
ウ

③ 喫煙
エ

④ 盛衰
イ

⑤ 駐車
エ

⑥ 硬貨
ウ

⑤ 宴えん 会
 ④ 逮たい 捕
 ③ 遭あ う
 ② 憇いこ い
 ① 怠おこた る
 心
 休やす む
 ィれい (にんべん)

五 部首がつく漢字を□に書きましょう。□の右は読みです。

⑥ 審しん 判
 ⑤ 賢者 ⇄ 愚者
 ④ 隆起 ⇄ 沈降
 ③ 超過 ⇄ 不足
 ② 孤立 ⇄ 連帯
 ① 実在 ⇄ 架空
 ⑥ 歡喜 ⇄ 悲哀
 ⑤ 大きい ⇄ 小さい
 ⑥ 反対の意味の「ことばを」、「からえらんで漢字で書きましょう。」
 「ふそく かくう ちんこう れんたい ひあい
 ぐしゃ」

七 次の——線のカタカナを、漢字で書きましょう。

① 食パンを一キン買う。

斤

② 国が公サイを発行する。

債

③ ガイ要を先生に説明する。

概

④ コ客の声を聞く。

顧

⑤ それは目のサク覚にすぎなかった。

錯

⑥ カンちがいをしてあやまる。

勘

⑦ パンにコウ母をまぜる。

酵

八 次の文には、同じ読みのまちがった漢字が一字あります。誤字と正しい漢字を、右と左の□に書きましょう。

① 新しい電池で機械の受命がのびた。

誤

受

正

寿

② 苦手な科目を国服した。

誤

国

正

克

③ 学校の前では車が除行する。

誤

除

正

徐

④ まず基祖から学ぶことが大切だ。

誤

祖

正

礎

⑤ 会社が新しく十人を故用した。

誤

故

正

雇

⑥ お金をためるために検約に努めた。

誤

検

正

儉

⑦ 荒れた土地を開根して畑にした。

誤

根

正

墾

九

意味を読んで、□に入る漢字を書き、四字熟語を完成させましょう。

① 感慨無量

しみじみと、心の底から深く感じるようす。

② 深山幽谷

人があまり行かない、ひっそりとした深い山や谷。

③ 気炎万丈

ものすごくさかんな、いきおい。

④ 緩急自在

ゆるめたり急いだりを、思いのままにすること。

⑤ 順風満帆

ものが、思いどおりうまく進むこと。

⑥ 刻苦勉励

つらさにたえて、一生けんめいにつとめること。

＋ 線のことばを、漢字で書きましょう。

① 同じかんかくで木を植える。

間隔

② この歌のかしをおぼえる。

歌詞

③ 新しいにつきちようを買ってもらった。

日記帳

④ びょういんでてんてきを受けた。

点滴

⑤ すきなきせつは春だ。

季節

⑥ テレビのがめんに、魚がうつる。

画面

⑦ 会長にしゅうにんする。

就任

⑧ ことばをつかってたんぶんを作る。

短文

⑨ かぜで大会をきけんした。

棄権

⑩ 駅への道をたずねる。

尋

⑪ 門にひようさつがかかっている。

表札

⑫ 名前をよばれたら、大きな声でへんじをする。

返事

